

魅力ある学校づくり協議会（志村小）

第1回 次第

日 時 令和元年 11 月 18 日(月) 午後 6 時 30 分から
会 場 板橋区立志村小学校 ランチルーム

1 会長挨拶

2 自己紹介

3 説明事項

(1) 「いたばし魅力ある学校づくりプラン～前期計画第2期対象校対応方針について～」の概要説明（資料4）

(2) 志村小と近隣小学校の現状について（資料5）

(3) 志村小の施設状況について（資料6）

(4) 志村小の改築方法について（資料7）

4 次回の協議会の日程について

【第2回協議会】

日時：令和元年 月 日（ ）

時間：18時30分から

場所：志村小学校 ランチルーム

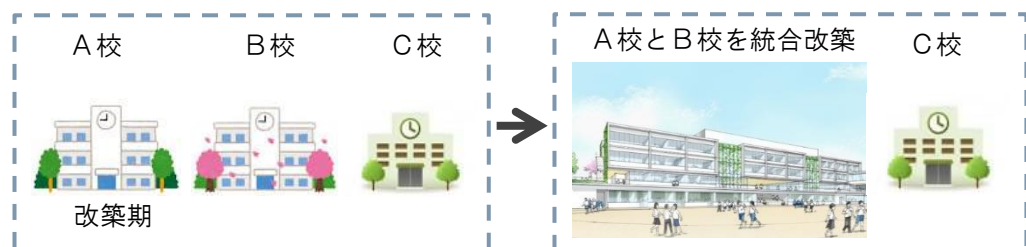
いたばし魅力ある学校づくりプラン

前期計画第2期対象校対応方針について

概要 「学校施設の老朽化」と「少子化の進行」という大きな課題を解決するための計画です。老朽化した学校施設の改築・改修を行うにあたり、周辺の学校を含めた学校規模・配置の適正化といった視点を連動させて検討を行うことで、将来にわたって持続可能な教育環境の整備をめざします。

このプランは、平成26年に策定し、計画期間を平成28年度から令和17年度までの20年間としています。この20年を10年間ごとに「前期計画」、「後期計画」に分けており、今回は前期計画の第2期対象校について方針を検討するものです。

●改築等と学校適正規模・適正配置を連動させたイメージ



改築期を迎えたA校の計画にあたり、隣接するB校・C校の2校を含め検討
⇒ A校又はB校の校地に改築統合校を設置（通学区域はC校を含め調整）

〔教育上望ましい学校規模と改築〕

改築の際には、小・中学校共に12学級から18学級を基本に整備



将来にわたって“教育上望ましい規模”が維持される集団としての教育機能が最大限に発揮

背景 区の最新の人口ビジョンでは、年少人口（0～14歳）は令和12年をピークにその後は緩やかな減少傾向を見込んでいます。一方で、生産年齢人口（15～64歳）は令和7年を境に減少し、高齢化が急速に進んでいく見込みです。

こうした状況を踏まえ、改築・改修を行う際は対象の学校だけでなくその近隣の学校を含めて、良好な教育環境・機能を実現し維持できるように整備していく必要があります。

前期計画第2期対象校対応方針について

対象校 昭和30年代建築で、改築・大規模改修が未実施の学校が対象です。

学校名	校舎建築年	学校名	校舎建築年
板橋第一中学校	昭和36年	上板橋第三中学校	昭和36年
板橋第五中学校	昭和37年	志村小学校	昭和38年
上板橋第一中学校	昭和36年	向原小学校	昭和36年

整備手法

改築に加え、改修・修繕による予防保全を通し、既存の学校施設を長く使用できるようにする「長寿命化」への取組を進めます。

小中一貫教育

令和2年度からの本格実施に向けて準備を進めている小中一貫教育がより効果的に進められるように施設の在り方について検討します。

対応の方向性

将来の人口動態、施設や校地の状況、小中一貫教育など様々な条件を総合的な視点から検討するため、対象となる学校とその周辺の学校で学校グループを編成し対応方針を検討します。

対象校のグループ編成

グループ編成

対象校と周辺（中学校1.5km、小学校1km圏内）の学校でグループ編成を行います。ただし、周辺の学校において、改築（予定）または大規模改修実施済の学校、そのほか特別な事情がある学校はグループ編成の検討対象から除外します。

【前期計画第2期・第3期】

	グループ名	対象校
第2期	Dグループ	上板橋第一中学校 上板橋第三中学校
	Eグループ	志村小学校
第3期	Fグループ	向原小学校
	Gグループ	板橋第一中学校 板橋第五中学校

E グループの検討（志村小学校と近隣小学校の現状）

各校の状況

志村第四中学校学びのエリア内各小学校の状況

学校名	学校間距離 (km)	R1 児童数 ・学級数	建築年	校地面積 (㎡)
志村小学校	0	374(12)	S38	7,990 (擁壁 641 ㎡含む)
北前野小学校	0.3	323(12)	S42	10,532
志村坂下小学校	0.8	563(18)	S38※	8,540
緑小学校	0.8	373(12)	S53	10,000

※H23 大規模改修済

志村小学校

（現状）

- 昭和 38 年に建設され、校地面積は 7,990 ㎡です。なお、この校地面積には擁壁 641 ㎡を含みます。
- 児童数・学級数は現在全校 12 学級です。

（将来）

- 児童数の将来推計では、微増後横ばいで、12 学級前後で推移する見込みです。

北前野小学校

（現状）

- 昭和 42 年に建設され、校地面積は 10,532 ㎡です。
- 児童数・学級数は現在全校 12 学級です。

（将来）

- 児童数の将来推計では、ほぼ横ばいの 12 学級前後で推移する見込みです。

児童数・学級数の推移及び将来予測

学校名	児童・学級数	H11	..	H21	..	R1	R7	..	R17	..	R27
志村小学校	児童数	272	..	364	..	374	429	..	380	..	374
	学級数	11	..	12	..	12	12	..	12	..	12
北前野小学校	児童数	306	..	212	..	323	296	..	344	..	338
	学級数	10	..	8	..	12	12	..	12	..	12
志村坂下小学校	児童数	470	..	534	..	563	585	..	582	..	572
	学級数	14	..	17	..	18	18	..	18	..	18
緑小学校	児童数	377	..	518	..	373	307	..	349	..	343
	学級数	12	..	16	..	12	12	..	12	..	12
志村第二小学校	児童数	380	..	565	..	557	643	..	496	..	487
	学級数	12	..	18	..	17	20	..	18	..	18
志村第四小学校	児童数	420	..	480	..	594	706	..	565	..	555
	学級数	13	..	14	..	18	22	..	18	..	18
志村第四中学校	生徒数	544	..	532	..	508	530	..	576	..	566
	学級数	15	..	15	..	14	16	..	16	..	16

参考：志村小学校に通学区域が隣接する小学校地図



グループ編成除外校(※通学区域を見直す時は、それぞれの通学区域も対象とします)

志村第四小学校、志村第二小学校、志村坂下小学校
増築または大規模改修実施校のため除外します。

Eグループの編成検討結果

- 志村小学校と北前野小学校は、それぞれ児童数の将来推計が微増・横ばいの予測であり、統合した場合は24学級という規模が推測され、学校規模が過大になります。

※志村小学校と北前野小学校を統合した場合の生徒・学級数推移予測

	R2	R7	……	R17	……	R27
児童数	700	725	……	724	……	712
学級数	21	24	……	24	……	20

- 志村小学校は、校地が狭く、多くを擁壁で囲われているため、改築を行う際は仮設校舎の設置場所や工事車両の移動動線等の制約による安全確保面で課題があり、工事期間が6年間にも及んでしまうという検討結果が出ています。



このことからEグループ編成では、志村小学校について、工事手法もしくは学校グループ編成手法等について総合的に検討します。



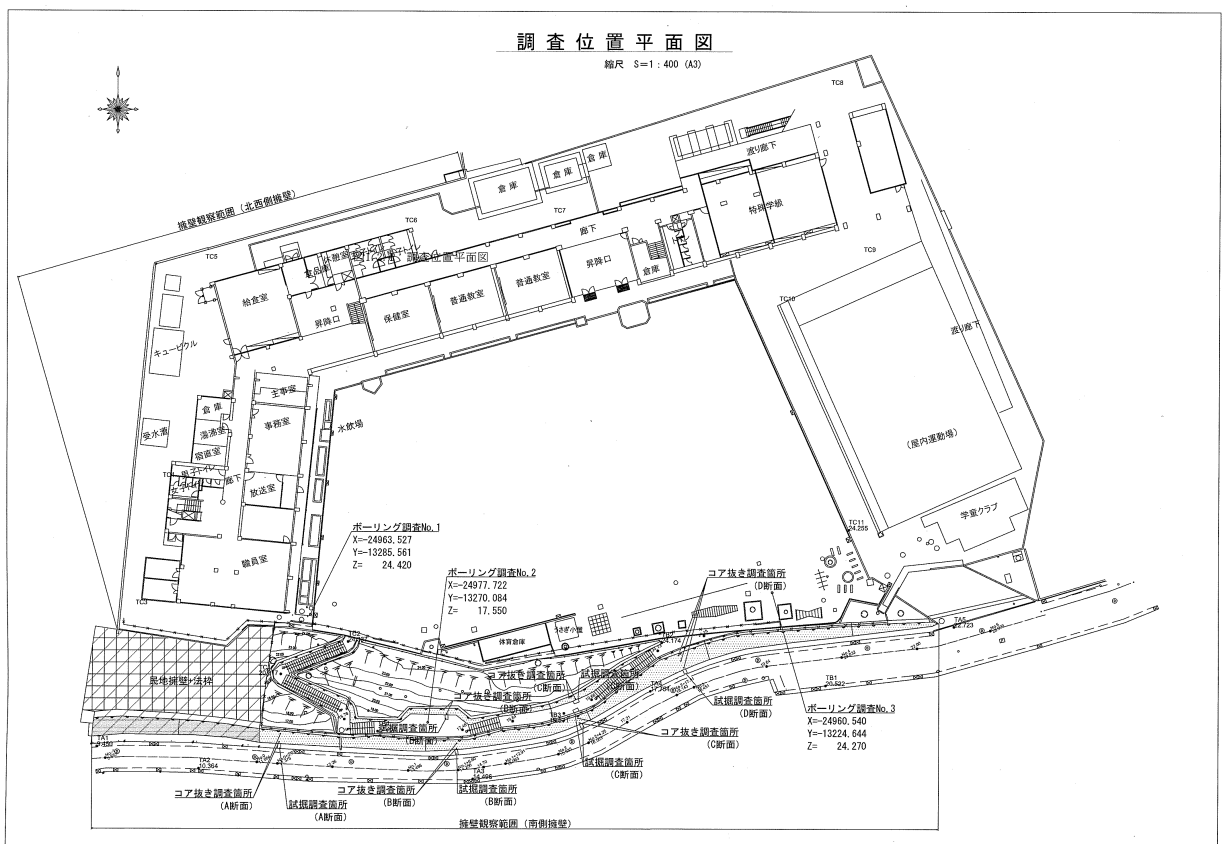
志村小学校は、単独で改築を行う際には様々な課題があり、工事手法の検討だけでは限界があります。

そのため、学びのエリアでの小中一貫教育推進の視点も取り入れていきます。

志村小の施設状況について

(平成31年1月 区立志村小学校配置計画・擁壁調査委託報告書より)

学校施設整備計画である「いたばし魅力ある学校づくりプラン」において検討対象校とされている区立志村小学校は、南側に高い擁壁があることや、接道条件等に課題があり、改築計画に大きな影響を与えることが想定される。擁壁の調査・改築配置計画・仮設計画・概算事業費の積算・事業工期の検討を行い、検討結果を基に改築計画の立案、比較検討を行った。



【調査結果】

今回調査の結果、現況地盤は安定しており、また現況擁壁にも大きな変状等はないことから、早急な擁壁対策等の必要性は低い。ただし、擁壁形状は基準不適合であることから、上記評価を踏まえた上で、今後校舎の改築などを検討する場合には、擁壁新設もあわせて総合的に検討する必要がある。

本計画地は、施設更新を考える際に、擁壁や主要出入口、敷地面積、日影規制などの敷地特性の要件が多くあり、非常に難易度の高い敷地である。

改築案の比較

	別の場所で授業を行う案	授業を受けながら改築を行う案
配置計画図	 <p>一例</p>	
概要	敷地を一旦更地にしたうえで、校舎を新築する。	現志村小学校の場所に仮設校舎を設置し、児童が工期中も校舎を利用する。
メリット	工期を短くすることができる。 (30～40か月)	工期中も校舎を利用できる。
デメリット	児童は工期中別の場所にある校舎を利用することが条件になる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工期が長い(58か月)。(安全に配慮すると、より工期の延長が見込まれる。) ・ 登下校する児童と、工事車両の動線が同一。
課題	工期中の仮設校舎の場所確保。	工期中の学校運営及び安全確保。

※いずれの案でも擁壁を新設する場合、条例により道路境界に管理歩道が必要になる。